

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 18日

（報告先）
横浜市長

住所 神奈川県横浜市中区山下町10番地

氏名 株式会社 ホテル、ニューグランド
代表取締役会長兼社長 原 信造

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社ホテル、ニューグランド 代表取締役会長兼社長 原 信造				
事業者の主たる 事業所の所在地	神奈川県横浜市中区山下町10番地				
主たる事業の業種	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業			
	中分類	75 宿泊業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	2,253	kl	自動車の台数	台

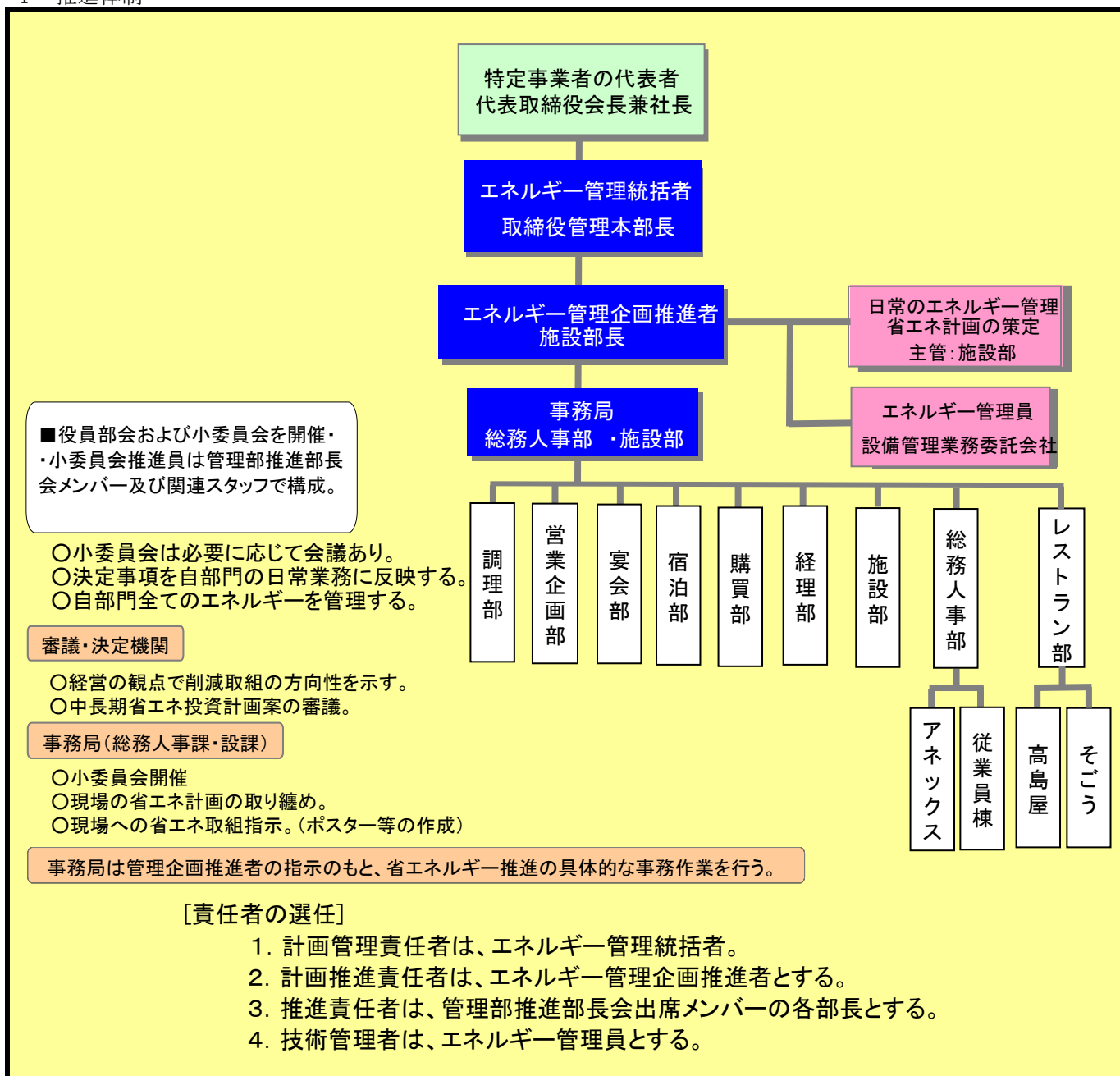
2 計画期間及び実施年度

計 画 期 間	2016	年度 ~	2018	年度	実 施 年 度	2018	年度
---------	------	------	------	----	---------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

- 社会的責任（エネルギーの抑制＝温暖化ガスの抑制）を遂行するうえで、推進体制における決定事項は全従業員が意識を持って抑制の推進に取り組まなければならない。
また、お客様への快適性・安全性・利便性の提供と省エネとの調和を図るものとする。
- 今回の計画期間では本館耐震補強工事に合わせトップランナー機器などへ設備機器更新をおこない温暖化抑制を行なう。
 - ・平成28年度計画：①レストラン改修に伴う、LED照明への更新。
②本館耐震補強工事に伴う、営業休止期間に行う空調機更新工事。
※①・②共に平成28年6月～9月にて更新工事にて実施済み。
 - ・平成30年度計画：客室改装時にLED照明への変更及びファンコイルユニット・水洗機器等の更新。

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	株式会社ホテルニューグランド 施設部
	所在地	横浜市中区山下町10番地
	閲覧可能時間	9：00～16：00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	4,746	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	4,657	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	4,700	t-CO ₂	削減率	1.0 %	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>本計画期間である平成28年度から30年度においては築89年となる本館建物耐震補強工事実施に伴い、各種設備機器の更新を同時に行い、ハード面での省エネの推進して行く。</p> <p>この目標を達成するため、次のような対策に取り組んでいく予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■空調設備更新 <ul style="list-style-type: none"> ・本館耐震工事にあわせ空調機の更新を行ない効率アップを図る。 ・冷却水等のポンプ類をトップランナー機器に更新 ■電気設備更新 <ul style="list-style-type: none"> ・本館改修工事部分の照明LED化。 ・受変電設備機器の更新。 								
事業者全体としての目標等	上記記載内容と同様。								
第一年度 (2016年度)	排出量	4,163	t-CO ₂	削減率	12.3 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	4,063	t-CO ₂	削減率	12.8 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度の大規模な削減率については6月から9月に掛けて行った本館耐震補強工事およびレストラン改装工事に伴う本館宴会場・本館客室の販売停止が主な要因と思われる。 ・機器更新については本館耐震補強工事に合わせ照明の一部LED化を行ったので、次年度以降に効果を検証して行く。 								
第二年度 (2017年度)	排出量	4,490	t-CO ₂	削減率	5.4 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	4,314	t-CO ₂	削減率	7.4 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年度は改修工事等が無く年間を通して通常営業に戻った為、前年より排出量が増加。基準排出量との比較では、2014年および2016年の耐震補強工事に合わせて行ったLED化及び空調機更新による電気使用量低下に伴い、目標値を上回っている。 								
第三年度 (2018年度)	排出量	4,501	t-CO ₂	削減率	5.2 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	4,276	t-CO ₂	削減率	8.2 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度より営業面が好調であった為、排出量は増加となったが、下期で行った客室改装工事等にて照明をLED化した事で、昨年と同程度の排出量とする事が出来た。 								
計画期間全体の排出状況に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> ・目標排出量に対して、5.2%(調整後排出量8.2%)と大幅に削減する事が出来た要因としては、下記の施策が要因であります。 <ul style="list-style-type: none"> ■第一年度：本館建物耐震補強工事に伴う、空調機更新及びレストラン改装工事に伴う照明LED化。 ■第三年度：タワー棟客室改装工事に伴う、照明LED化。 								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	4,340	1	3,723	1	4,074	1	4,089
500k l 以上 1,500k l 未満	0	0	0	0	0	0	0	0
500k l 未満	4	406	4	440	4	416	4	412
合計	5	4,746	5	4,163	5	4,490	5	4,501

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	5/5	—	年度		実施済	5/5	—	年度		実施済	5/5	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	5/5	—	年度		実施済	5/5	—	年度		実施済	5/5	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	5/5	—	年度		実施済	5/5	—	年度		実施済	5/5	—	年度		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	5/5	—	年度		実施済	5/5	—	年度		実施済	5/5	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	5/5	—	年度		実施済	5/5	—	年度		実施済	5/5	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)伊簡煙管 [※] 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類)伊簡煙管 [※] 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類)伊簡煙管 [※] 2/2	—	年度		
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)吸収式冷凍機 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類)吸収式冷凍機 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類)吸収式冷凍機 2/2	—	年度		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)伊簡煙管 [※] 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類)伊簡煙管 [※] 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類)伊簡煙管 [※] 2/2	—	年度		
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)伊簡煙管 [※] 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類)伊簡煙管 [※] 2/2	—	年度		実施済	(設備の種類)伊簡煙管 [※] 2/2	—	年度		
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	実施済	(設備の種類)蒸気ヘッダー及びバルブ [※] 13/13	—	年度	(設備の種類)伊簡煙管ボイラより蒸気ヘッダー及びバルブに変更。	実施済	(設備の種類)蒸気ヘッダー及びバルブ [※] 13/13	—	年度		実施済	(設備の種類)蒸気ヘッダー及びバルブ [※] 13/13	—	年度		
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備が無い。	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備が無い。	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備が無い。	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備が無い。	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備が無い。	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備が無い。	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備が無い。	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備が無い。	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備が無い。	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		4.12 %		4,501		280.7		95.2		185					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 (t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	ブライダルサロン照明更新 (白熱球から電球型蛍光灯に変更)	ホテル ニューグ ランド	2009	■ミニクリプトン60W型(54W)を使用。	昼間買電	21,168	kWh	10.8	■電球型蛍光灯60W型(9W)に変更	昼間買電	2,495	kWh	1.3	9.6	千円
2	タワー棟客室通路6階～17階照明更新 (白熱球から電球型蛍光灯に変更)	ホテル ニューグ ランド	2010	■ミニクリプトン60W型(54W)を使用。	昼間買電	157,651	kWh	80.7	■電球型蛍光灯60W型(9W)に変更	昼間買電	26,275	kWh	13.5	67.3	千円
3	タワー棟16階 ザ・クラブ照明更新 (白熱球から電球型蛍光灯に変更)	ホテル ニューグ ランド	2010	■ミニクリプトン60W型(54W)を使用。	昼間買電	1,045	kWh	0.5	■電球型蛍光灯60W型(9W)に変更	昼間買電	174	kWh	0.1	0.4	千円
4	本館2階フェニックスルーム照明更新 (白熱球から電球型蛍光灯に変更)	ホテル ニューグ ランド	2010	■シリカ球100Wを使用。	昼間買電	9,504	kWh	4.9	■電球型蛍光灯100W型(25W)に変更	昼間買電	2,376	kWh	1.2	3.6	千円
5	タワー棟2階ランデブーラウン ジ、 トイレ、クローク、TELBOX (白熱球から電球型蛍光灯に変更)	ホテル ニューグ ランド	2010	■シリカ球80Wを使用。	昼間買電	7,846	kWh	4.0	■電球型蛍光灯100W型(12W)に変更	昼間買電	1,177	kWh	0.6	3.4	千円

連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 (t-CO2)	投資金額			
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)		
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位	
6	レストラン改修工事に伴う照明更新 (白熱球からLEDに変更) (レストラン名: ザ・カフェ)	ホテル ニューグ ランド	2016	■クリプトンランプおよび ハロゲンランプを使用。 ☆対象: 103台 営業時間10:00~21:30 11.5h	昼間買電	14,599	k Wh	7.5	■LED照明 76台 営業時間10:00~21:30 11.5h	昼間買電	2,023	k Wh	1.0	6.4	千円	
7	レストラン改修工事に伴う照明更新 (白熱球からLEDに変更) (レストラン名: イルジャル ディーノ)	ホテル ニューグ ランド	2016	■クリプトンランプおよび ハロゲンランプを使用。 ☆対象: 61台 営業時間11:30~21:00 9.5h	昼間買電	8,599	k Wh	4.4	■LED照明 61台 営業時間11:30~21:00 9.5h	昼間買電	2,488	k Wh	1.3	3.1	千円	
8	レストラン改修工事に伴う照明更新 (白熱球からLEDに変更) (レストラン名: パームルーム)	ホテル ニューグ ランド	2016	■クリプトンランプおよび ハロゲンランプを使用。 ☆対象: 30台 営業時間9:00~21:00 12.0h	昼間買電	12,352	k Wh	6.3	■LED照明 30台 営業時間9:00~21:00 12.0h	昼間買電	3,587	k Wh	1.8	4.5	千円	
9	客用トイレ改修工事に伴う照明更新 (白熱球からLEDに変更) (本館1階 客用トイレ)	ホテル ニューグ ランド	2016	■クリプトンランプおよび ハロゲンランプを使用。 ☆対象: 23台 営業時間 無休 24.0h	昼間買電	7,253	k Wh	3.7	■LED照明 23台 営業時間 無休 24.0h	昼間買電	2,962	k Wh	1.5	2.2	千円	
10	タワー棟 客室改装工事に伴う、 照明のLED化	ホテル ニューグ ランド	2018	■使用料計算方法 消費電力×点灯時間(21h)×365 日 ※点灯時間: チェックイン14:00から チェックアウト11:00で算 出。	昼間買電	220,031	k Wh	112.7	■使用料計算方法 消費電力×点灯時間(21h)×365 日 ※点灯時間: チェックイン14:00から チェックアウト11:00で算 出。	昼間買電	123,597	k Wh	63.3	49.4	千円	
11	ホテルメインエントランス 屋外照明のLED化	ホテル ニューグ ランド	2018	■使用料計算方法 消費電力×点灯時間(24h)×365 日	昼間買電	88,126	k Wh	45.1	■使用料計算方法 消費電力×点灯時間(24h)×365 日	昼間買電	18,730	k Wh	9.6	35.5	千円	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	コージェネレーションシステム	2005年度	ヤンマー（AYG20L-ST形） 電気出力350kW	
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	162	東京電力エナジーパートナー株式会社
2	高効率コージェネの利用	2018年度	ホテルニューグランドから 排出される排出量の全部	63	総合効率61.8% 省エネ率 23.8%
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員による省エネ管理書でのエネルギー効率化及び温暖化抑制の推進。 ・階段の利用促進（2UP 3DOWN）啓蒙ポスターの掲示。 ・食品廃棄物の排出量把握と再生利用（飼料化）の取り組み。 ・クールビズの実施。（5月1日～9月30日）
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度までに行っている対策を継続して行う。
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員による省エネ管理書でのエネルギー効率化及び温暖化抑制の推進。 ・階段の利用促進（2UP 3DOWN）啓蒙ポスターの掲示。 ・食品廃棄物の排出量把握と再生利用（飼料化）の取り組み。 ・クールビズの実施。（5月1日～9月30日）
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員による省エネ管理書でのエネルギー効率化及び温暖化抑制の推進。 ・階段の利用促進（2UP 3DOWN）啓蒙ポスターの掲示。 ・食品廃棄物の排出量把握と再生利用（飼料化）の取り組み。 ・クールビズの実施。（5月1日～9月30日）
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員による省エネ管理書でのエネルギー効率化及び温暖化抑制の推進。 ・階段の利用促進（2UP 3DOWN）啓蒙ポスターの掲示。 ・食品廃棄物の排出量把握と再生利用（飼料化）の取り組み。 ・クールビズの実施。（5月1日～9月30日）

14 実施状況等に対する自己評価

<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度は営業面が好調であった為、排出量は増加となったが、下期で行った客室改装工事等にて照明をLED化した事で、昨年と同程度の排出量とする事が出来た。
